

2014年2月4日
株式会社日立製作所

ヘルスケアグループおよびヘルスケア社の新設について

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、2014年4月1日付で、新たに「ヘルスケアグループ」を設立し、世界規模で多様化するヘルスケア分野のニーズに、迅速に対応できる体制を構築します。ヘルスケアグループは、日立の社内カンパニーに分散していたヘルスケア関連事業を再編・統合して新設する「ヘルスケア社」のほか、株式会社日立メディコ(以下、日立メディコ)等のグループ会社を加え、日立の7つめのグループとして発足します。ヘルスケアグループの設立により、日立グループの経営リソースを集約し顧客対応の一元化を図ることで、多様化するヘルスケア市場のニーズに応えるソリューション提案力を高め、グローバル競争力を強化していきます。

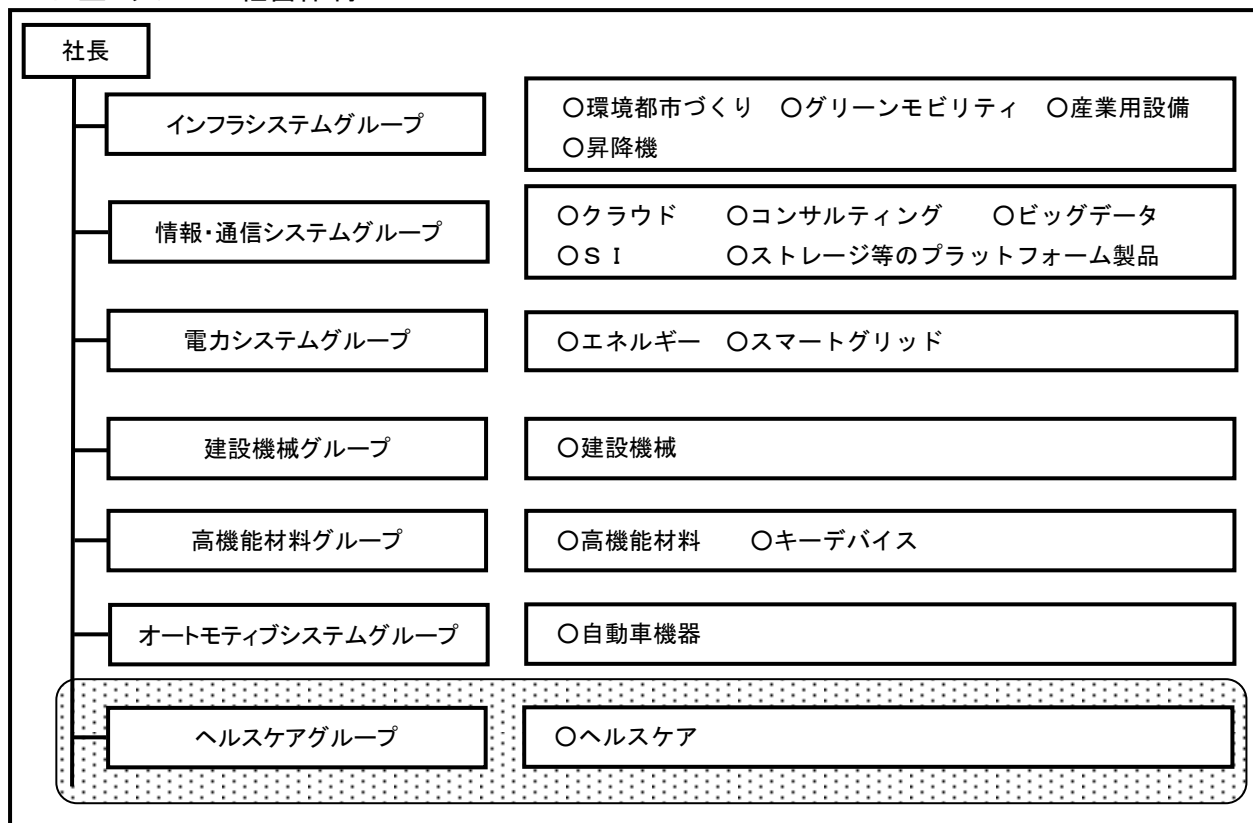
日立は昨年5月に策定した「2015中期経営計画」において、「社会・お客様が抱える課題を共に見出し、“One Hitachi”で解決」し「プロダクト、サービス、IT(クラウド)を組み合わせたソリューションによりイノベーションを実現」する「社会イノベーション事業」を展開し、グローバルな成長を実現することをめざしています。

ヘルスケア分野は、先進国における人口の高齢化や、新興国等での医療水準向上など、さまざまな対応すべき課題がある一方、今後の成長が見込まれる市場であり、日立が「社会イノベーション事業」を展開する重要な分野です。日立は、昨年10月にヘルスケア事業戦略本部を設置し、グループ全体のヘルスケア分野における事業戦略の検討を続けてきました。また、顧客対応を一元化し、ヘルスケア分野におけるソリューション事業を拡大することを目的として、遅くとも2014年4月頃までをめどに、診断用超音波装置やMRIなどの医療機器メーカーである日立メディコを完全子会社化する予定です。

今回、日立はヘルスケアグループを新設することにより、これまでの6グループから7グループ体制とし、市場対応型経営を強化します。本再編により、日立グループはヘルスケア分野における戦略立案や営業機能などの経営リソースを集約し、一体運営を図り、健診、検査、診断、治療、そして在宅医療・介護サービスなど多岐にわたるヘルスケア分野のニーズに、最適なソリューションを迅速に提供していきます。

今後、日立グループは、高度な医療機器とサービス、ITを組み合わせたソリューションを“One Hitachi”で提供し、ヘルスケア事業をグローバルに拡大し、更なる成長をめざします。

■日立7グループ経営体制



以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
